

平成 30 年 9 月 4 日

一般社団法人 日本禁煙学会 理事長  
作田 学様

**貴学会が発信された「タバコと乳がんについての最新知見」に関するお知らせについて**

いつも、タバコについての情報発信や政策提言活動など、国民の健康を守るための活動を行なっていただきありがとうございます。

貴学会が 8 月 30 日付で発信された「タバコと乳がんについての最新知見」のお知らせについて、先に亡くなられました漫画家さんの名前を挙げ、その方がヘビースモーカーであったことが書かれています。

その方が自身の発信の中で「ヘビースモーカー」であることを公言されていたとしても、亡くなられたというニュースが発信された直後に、学会がその方が患われていたがんとタバコとの知見をお知らせするのに、その方のことを敢えてホームページに記載する必要があるのでしょうか？

確かに、健康のためには禁煙はとても大切だと思いますし、受動喫煙も可能な限り減らしたいという思いはがん患者会としてもっています。

ただ、広く情報提供するにあたって、特定の方を晒し者にするかのようなこの学会のホームページの記載は倫理的にどうなのか、疑問に感じます。

ひとが亡くられることはご家族のみならず、一緒にお仕事をしてきた人、友人だった人、多くの方が悲しみと向き合うこととなります。そんなときに、このような発信をされることは学会として正しい情報発信といえるのでしょうか？

あえて特定の方をお知らせの文中で取り上げる必要があったのでしょうか。

重ねて申し上げますが、がんの患者会として禁煙する方が増えることを願いますし、受動喫煙の機会が減ることを願っておりますが、そのために病と向き合う人や、故人が責められることはとても残念に思います。

どうかいま一度学会として発信の文章等についてご検討いただけましたら幸いです。

正義と思う発信が特定の人物、また多くの人を傷つけることがないよう願っています。

卵巣がん体験者の会スマイリー

代表 片木美穂

080-7038-9750/info.smiley@gmail.com